

# 市民病院だより

## 病気の子どもをみる時に気をつけること

小児科 医師 安藤万里子あんどう まりこ

①乳幼児は会話が十分でないの  
で、見た目による状態の把握  
が大切です。

ぐったりしていないか、興味  
を示すか、遊んでいるか、泣き  
方かどうか、息苦しそうではな  
いか、顔色が青白くないかなど  
に注意して観察を行いましょ

### ②代表的な症状への対応

#### 1) 発熱

3カ月未満児の発熱、ぐった  
りして意識がはつきりしない  
時、嘔吐が激しい時はすぐに受  
診が必要です。

熱が高くても元気や食欲があ  
る時は、あまり心配ないですが、  
脱水に気をつけながら上手に解  
熱剤を使って様子をみましょう。

#### 2) 下痢

下痢の回数が多くても食欲が

あり、水分が取れて機嫌が良い  
ときは、あまり心配ないです。

脱水の心配があるときは、受診  
しましょう。糖分や塩分の含ま  
れたもので水分を補給しましょ  
う。

感染性のものが多いので、手  
洗いをしっかり行い二次感染に  
注意しましょう。

#### 3) 嘔吐

吐き気が治まってから、少量  
ずつこまめに水分を取りましょ  
う。それでも嘔吐が続くときは、  
緊急疾患や脱水の心配がありま  
すので受診しましょう。

#### 4) 喘鳴

顔色が悪かったり、息が早く  
きつそうな時は、すぐに受診し  
ましょう。

#### 5) 発疹

治療が必要なものもあります  
ので、原因が分からない時は受  
診しましょう。

### 6) けいれん

突然、白目をむいて手足をか  
たく突っ張り、全身を震わせま  
す。ひきつけた時は、あわてず  
に体を横に寝かせ、服をゆるめ  
てあげましょう。

熱性けいれんである場合がほ  
とんどですが、怖い病気も紛れ  
ていますので、受診しましょう。

### ③注意すべき疾患

#### 腸重積

1歳前後の赤ちゃんで、腸が  
腸の中に入り込んでしまう病気  
です。

腹痛のため突然激しく泣いた  
り治まったりを、交互に繰り返  
します。そのうち、嘔吐がみら  
れるようになり、繰り返します。  
さらに、血便がみられるよう  
になります。疑わしければ、すぐ  
に受診しましょう。

#### 急性虫垂炎

俗にいう、「もうちょう」。は  
じめはみぞおちの辺りを痛がり  
ますが、次第に右下腹部に移動  
し、吐き気、微熱を伴うことが  
多くあります。

### 頭部外傷

頭を打った後すぐに泣いて意  
識もしっかりしている時はひと  
まず安心ですが、くり返し吐い  
たり、名前を呼んでもぼーっと  
したり、うつろな目をしていた  
り、手足の動きがおかしい時は、  
頭蓋内出血の可能性もあります  
ので、すぐに脳外科のある医療  
機関を受診しましょう。

### 髄膜炎

高熱に頭痛や嘔吐のくり返し  
を伴い、けいれんを起こすこと  
もあります。顔色が悪く、水分  
も取れずぐったりしてきます。  
命に関わることもある重症疾患  
です。

### ④子どもは大人のミニチュアで はありません。

同じ病気にかかっても、大人  
の場合がそのまま子どもに当て  
はまるわけではありません。子  
どもは免疫力が不十分で、急な  
発症や、経過も早かったり、重  
症になりやすかったりします。  
心配な症状のときは、早めに受  
診してください。

## 診療時間変更 のお知らせ

内科診療時間が水曜日の午後のみ14時30分開始となります

詳細は、市民病院ホームページや電話にてご確認ください。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>